

三保の森クリニック

/医療法人 赤枝会 三保の森クリニック
〒226-0015 横浜市緑区三保町195-1
TEL 045-922-5255 / FAX 045-922-5581
WEB SITE <http://www.akaedakai.com/mihonomori>



2023年6号

今回のテーマは透析患者さんと鉄について

鉄は赤血球造血などに必要な微量元素で、健康な成人の体内には約3000～5000mgの鉄が存在し、そのうち60～70%はヘモグロビン(Hb)鉄で、その残りの約1000mg程度は「貯蔵鉄」として肝臓や網内系に蓄えられています。

TSAT、フェリチンって何？

・TSATとは

血清鉄はトランスフェリンと呼ばれる蛋白質と結合しており、トランスフェリンの総量を総鉄結合能(TIBC)、血清鉄と結合していないトランスフェリンを不飽和鉄結合能(UIBC)といいます。TIBCの中で鉄と結合している割合をトランスフェリン飽和度(TSAT)といい、鉄動態の指標として用いられます。

総鉄結合能(TIBC)

血清鉄(Fe)



トランスフェリン



トランスフェリン

不飽和鉄結合能(UIBC)



トランスフェリン トランスフェリン



トランスフェリン トランスフェリン

トランスフェリン飽和度(TSAT)

全体に占める



トランスフェリン

の割合

・フェリチンとは

フェリチンはほとんどの細胞内に存在する鉄結合蛋白質で、トランスフェリンが運んでくる鉄を無毒化して細胞内に保存します。鉄が必要な場合は供給して調節し、鉄不足と鉄過剰を抑える役割があります。

フェリチンは細胞内の鉄の過不足により制御されていて、血清フェリチン値は細胞内の貯蔵鉄の状態の指標とされています。

鉄補充療法の開始基準

血清フェリチン値とTSATの評価はESA(赤血球造血刺激因子製剤)を投与しているかで異なります。『日本透析医学会 慢性腎臓病における腎性貧血治療のガイドライン』ではESAを投与していなく、目標Hbを維持できていない患者さんは、血清フェリチン値50ng/mL未満を基準にESA投与に先行した鉄補充療法を提案します。ESA投与中であれば血清フェリチン値100ng/mL未満かつTSAT20%未満の場合に鉄補充療法が推奨されています。鉄利用率が低下する病態が認められず血清フェリチン値100ng/mL未満もしくはTSAT20%未満のいずれか1つを満たす場合には鉄補充療法が推奨されます。

- ・ ESA未投与で目標Hb値未満：血清フェリチン値が50ng/mL未満→ESAに先行した投与推奨
- ・ ESA投与中で目標Hb未満：①血清フェリチン値が100ng/mL未満かつTSAT20%未満で投与推奨
②鉄利用が低下する病態が認められず、血清フェリチン値が100ng/mL未満、またはTSAT20%未満で投与推奨

三保の森クリニックからのお知らせ

レントゲン検査の日はボタンのない腹だとそのまま撮影できますよ

毎月、月初めは保険証の提示をお願い致します。

毎年、美味しそうなイチゴが実ります。



今年はビワが、鈴ないです。



当院の透析食 Pick up



MENU

散らし寿司
菜の花の白和え
蟹の重ね煮
女雛
ほうじ茶



3/3はひな祭りでした。ちらし寿司には、金運に恵まれる錦糸卵、先の見通しが良くなるれんこんなど、縁起が良いとされる食材がたくさん入っています。寿司には「寿（ことぶき）を司る（つかさどる）」という意味があり、縁起の良い食べ物として重宝されてきました。皆様に良いことがたくさんありますようお願いしております。

6月の検査予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 レントゲン	3 レントゲン
4	5	6	7	8	9	10
11	12 血液検査	13 血液検査	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26 血液検査	27 血液検査	28	29	30	